

平成18年度 橘リサイクルコミュニティーセンターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	財団法人川崎市リサイクル環境公社（川崎市川崎区宮本町2番地20）
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日
(3) 業務の範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・再利用品展示・提供コーナー、実践コーナー、会議室等の管理運営に関すること。 ・リサイクルを主としたカルチャースクールの企画・開催に関すること。 ・施設の利用許可、利用料金の徴収に関すること。 ・施設等の維持管理に関して必要なこと。 ・その他市が施設の管理運営に関して必要と認めること。

2 管理運営（事業執行）に対する評価

評価項目	平成18年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
管理体制と人材の育成	利用者へのサービス向上のため、施設の管理責任者をはじめ事務・再利用担当職員が一丸となって、市民が気軽に来館できるように心がけた。毎朝のミーティング時に利用者の応接教育等の話し合いを行い、円滑に管理運営を遂行した。	常に利用者への対応について話し合い、快適に過ごしてもらえるよう取り組んでいる。今後とも利用者が気軽に来館できるよう運営すること。
施設・設備の維持・管理に関する業務	利用者の安全確保を優先した対応を念頭に置き、日常の点検・管理を実施することにより、適正な維持・管理を行った。なお、機器の定期保守点検については、専門業者に委託し年間を通し安定した維持管理に努め、適切な運営を実施した。	今後とも利用者の安全を優先し、安心して利用してもらえるよう運営を行うこと。
危機管理	事故・災害が万一発生した場合に備え、救急薬品の利用方法や防災訓練・避難誘導の訓練を実施した。	引続き訓練を実施し、非常時にも適切に対応できる体制を整えること。
利用者へのサービス向上	平成18年4月から、水曜日の休館を改め、年末年始を除く通年開館とした。また、利用者の声を反映するため、施設利用者へのアンケートを1月に実施し、多くの市民に利用いただけるよう努めた。	利用者の意見を反映させ、また利用してもらえるように市民活動のサポートを行うこと。

(2) リサイクルに関する普及・啓発活動等

リサイクル学習会等の開催

講習会・教室	回数	参加人数
廃食用油からの石けん作り学習会	22回	1,251人
牛乳パックからの紙すき学習会	22回	1,255人
古布のリフォーム教室	12回	164人
牛乳パック工作教室	11回	141人
廃木材の木工教室	12回	169人
余り布で小物作り教室	12回	86人
エコぞうり作り教室	12回	218人
夏休み親子リサイクル教室	2回	71人
出前体験教室	7回	512人
リサイクル問題講演会の開催	1回	21人
リサイクルバザーの開催	7教室	300人

「橋 RCC だより」の発行

目的：施設の活動状況とリサイクルへの意識啓発
 発行部数：2,500部
 発行回数：年2回
 配布箇所数：市内26箇所

リサイクルに関する市民団体等への支援活動及び参加

- ア 生ごみ有効利用 EM ぼかし推進活動への支援
 対象：生ごみのリサイクルを実施している団体への支援
 団体数：1件 年6回
- イ 市民によるフリーマーケットへの出店
 開催名：第27回あさお市（麻生区役所広場）
 出店物：リサイクル品、手作り木工作品、エコぞうり、石けん等の販売

施設利用状況 (人)

	平成18年度	平成17年度	前年対比
再利用品展示・提供コーナー	7,421	7,592	171
学習室	1,593	1,509	84
会議室	2,140	1,985	155
実践コーナー	1,587	1,492	95
合計	12,741	12,578	163

リサイクル品出展数

	平成18年度	平成17年度	前年対比
出展数	517点	510点	7点
入場者数	7,421人	7,592人	171人
応募者数	6,024人	6,520人	496人
平均倍率	11.7倍	12.8倍	1.1倍

古布類持込量 (kg)

	平成18年度	平成17年度	前年対比
持込量	3,615	-	-

平成18年度から水曜日も開館

ごみ減量・リサイクルの取り組みを市民に浸透させるため、リサイクル教室などを積極的に実施している。また、古着類を来館者に提供するなど、新たなサービスを開始し、利用者の増加に向けて取り組んでいる。リサイクル品については、平均倍率も高く利用者から好評であることから、月1回の抽選回数を増やすなど、利用者の増加に向けて検討を行うこと。

(3) 収支状況		
収支状況について	ア 収入の状況 収入金額 ・事業収入 859,442円 ・指定管理料収入 17,793,000円 ・雑収入 8,977円 収入合計 18,661,419円	事業の性質上、収益を増加させることは困難ではあるが、引続き収支の均衡に努めること。また、利用者の増加を目指し、サービスの向上にも努めること。
	イ 支出の状況 支出金額 ・事業費支出 202,877円 ・管理費支出 18,324,649円 支出合計 18,527,526円	
	ウ 収支差額 133,893円	
(4) その他		
利用者からの意見・要望等への対応	利用者からの意見を施設運営に反映できるよう、アンケートの充実を図っております。また、対応可能な意見については、早急に改善をしている。	利用者の意見を取り入れ施設改善に取り組んでいる。
	1 再利用品の倍率が高い 市内在住の18歳以上の来館者1人2点までの申込制としている。家族構成により当選確率が左右される傾向があるので、運営委員会等で抽選方法を検討する。	申込者に不公平感が生じないように、サービスの向上に努めること。
	2 リサイクル学習は、雰囲気もよく楽しい 市民の日常生活における実践活動に繋がる第一歩として、更に身近に楽しくできる教室の開催に取り組んでいく。	利用者の意見を取り入れ、参加したくなるような講座を開設すること。
個人情報の保護	個人情報保護については、公社規定の要綱に基づき、一括保存し適正に管理している。個人情報は必要最低限の収集に止め、保管・管理について十分配慮している。	全職員を対象とした個人情報保護に関する研修を実施し、取扱について徹底すること。

3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

平成18年度は、指定管理者制度導入の一年目であったが、リサイクル環境公社として長年培ってきた施設運営のノウハウを活かし、市民を対象とした各種リサイクル学習会の開催や市内の小中学校などで出前体験教室を開催するなど、資源循環型社会の推進に向け積極的に運営がされているものと評価できる。

4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

ごみの減量・リサイクルを推進し、地球環境にやさしい持続可能な循環型社会を創れるよう、市民の環境に対する意識向上を目指して今後とも効果的な事業活動を実施すること。また、利用者を対象にアンケート調査を行い、市民ニーズの把握に努めるほか、サービスの向上に向けて取り組みを行うこと。